

大阪電気通信大学 エレクトロニクス基礎研究所 ワークショップ
「シンチレーター材料の現状と新しい展開」

現在、シンチレーターは各種の放射線や X 線の検出、原子核物理学・宇宙物理学分野における高エネルギー粒子の検出、さらには PET 等を代表とする医療分野にまで広く応用されている。これらの分野の需要に応えるべく新しいシンチレーター材料の研究開発が活発であるが、さらなる展開、発展のためには克服すべき課題も多い。

今回企画したワークショップは、この分野で活発に活躍している研究者がお互いの情報を交換し合い、シンチレーター材料開発の現状と今後の展開についての認識を共有できることを目的に企画したものである。この分野に興味のある研究者、学生の諸君にご参加いただき活発な議論を期待したい。

主催：大阪電気通信大学エレクトロニクス基礎研究所

日時：2011年2月21日(月) 13:00～18:00

場所：大阪電気通信大学 M号館9階会議室

13:00～13:05 はじめに

13:05～13:45 キヤノン(株)総合 R&D 本部、大橋良太、安居伸浩、大村秀之、田 透

「In 添加アルカリハライド混晶シンチレーターの発光特性」

13:45～14:25 東北大学工学研究科 越水正典

「超微粒子含有シンチレーターの開発—発光体および放射線吸収体としてのナノ粒子の導入」

14:25～15:05 山形大学理学部物理学科 北浦 守

「電子正孔対多重生成下における希土類イオンの励起機構」

15:05～15:45 福井大学工学研究科 福井一俊

「シンチレーション材料他向け可視・真空紫外励起・可視・真空紫外発光ビームライン計画」

休憩

16:00～16:40 大阪府立大学理学系研究科 河相武利

「貴金属陰イオンを微量に添加した CsI 結晶の発光特性」

16:40～17:20 立命館大学理工学部 平井 豪

「ハロゲン化物 / 酸化物微粒子を分散させたアルカリハロゲン化物薄膜結晶のシンチレーター材料としての応用の可能性」

17:20～18:00 大阪電通大工学研究科 大野宣人、大野 彬

「アルカリハライド超微粒子形成とシンチレーション機能」

終了後 懇親会 Z号館3階 学生ホール

問合わせ先：エレクトロニクス基礎研究所 大野宣人

Tel: 072-824-1131 内線 2260

E-mail: n-ohno@isc.osakac.ac.jp